

4 月 29 日：VN 指数は連休前で薄商い (VN-Index -0.04%)

- 5 日間の休場を前に、本日の VN 指数は前日終値付近で寄り付いた。
- 高値圏で推移していた VIC (0.00%)が調整の様相を見せ、指数も同様に様子見体制となった。しかし後場には同株が回復の兆しを見せ、指数を上昇圏まで徐々に押し上げていった。
- 主要なニュースが無く、相場の方向感が定まらない中で銘柄ごとに個別の動きを見せた一日となった。
- セクターでは、資本財・サービスが引き続き好調であった。
- 226 銘柄が上昇、274 銘柄が下落、72 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 2.6%増の 15.5 兆ドンとなった。

VN30 指数は下落が先行 (VN-30 -0.20%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 8 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずとなった。
- SAB (-6.05%)、BCM (-1.26%)、VJC (-3.48%)が指数を押し下げた
- VRE (+2.38%)、TCB (+1.15%)の下落が特に目立った。

セクター・個別株の動き

- アメリカ政府はベトナムに対して更なる関税交渉に応じる動きを見せた。これにより VSC (+6.92%)、GMD (+3.92%)、HAH (+5.94%)などの物流株が集中して物色された。
- NKG(-0.83%)の 2025 年第 1 四半期決算は、売上高 4.1 兆ドン(前年同期比 22.7%減)、純利益 650 億ドン(同 56.4%減)と低調な結果となった。
- 外国人投資家は 2,530 億ドンを売り越した。VIC (0.00%)がよく売られた一方、VRE (+2.38%)、MWG (-0.16%)が最も売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。